

国民年金からのお知らせ

後納制度が始まりました

10月1日から国民年金保険料の後納制度が始まりました。国民年金は、20歳から60歳までの40年間、国民年金保険料を納めることで、満額の老齢基礎年金を受給できる制度です。

保険料を納められなかった期間がある場合や、資格取得などの届け出忘れにより、国民年金の資格期間がない場合〔保険料納付や免除等の合計期間が25年(300月)未満〕には、将来の年金受給額が少なくなったり、年金そのものが受給できなくなってしまうことがあります。

このような事態を避けるために、10月1日から、過去10年間さかのぼって未納期間等の保険料を納めることができるようになります。



ただし、すでに老齢基礎年金の受給権をお持ちの方は、納めることができませぬ。未納保険料がある方は、ぜひこの機会に後納制度を利用して、老齢基礎年金額の増額または受給権の取得に努めてください。



▼後納期間 10月1日から平成27年9月30日

▼納付申込み 後納制度は事前申込みが必要です。日本年金機構または豊岡年金事務所へ申込書を提出した後、審査が行われ、承認通知と納付書が送付されます。

▼注意事項

- ・過去3年度以前の後納保険料は、当時の保険料額に加算額が付きます。
- ・後納が可能な期間のうち、最も古い分から先に納付することになります。
- ・10年を経過した月ごとに納付できなくなります。例えば、平成14年11月分は、今年12月になると納付できませぬ。

一部免除された期間のうち、未納となっている期間も対象となります。

《問合せ》国民年金保険料専用ダイヤル

☎0570-0111-050

050、070から始まる

☎03-6731-2015、または豊岡年金事務所

平成27年10月から

年金受給資格期間が

10年に短縮されます

「年金機能強化法」の成立により、年金の受給資格期間(保険料納付や免除期間等の合計)が、これまでの25年(300月)から10年(120月)に短縮される予定です。

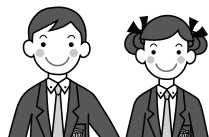
国民年金保険料に未納期間があったり、年金制度に加入していなかったなどの理由で、年金受給をあきらめていた方、ぜひ後納制度を利用するなど、もう一度年金受給について確認してください。

※詳細は、豊岡年金事務所にお問い合わせください。

障害基礎年金における子の加算

平成23年4月に「障害年金加算改善法」が施行され、以前は、障害基礎年金請求時に子がいる場合のみ加算が付きましたが、新しい制度では、障害基礎年金を受給中に子の出生や縁組などで子が増えた場合も加算の対象となります。

子とは、18歳到達年度の末日までの高校在学年齢にある子または20歳未満で1級・2級の障害がある子で、障害基礎年金受給者と生計維持関係がある場合に限り、障害基礎年金受給者には、昨年3月に日本年金機構から通知が送付されていますが、まだ手続きをしていない方は、「障害給付加算額・加給年金加算開始事由該当届」を提出してください。



※詳細は、豊岡年金事務所、市民課、または各総合支所市民福祉課へお問い合わせください。

豊岡年金事務所からのお知らせ

年金相談窓口を次のとおり時間延長します。

お越しの際には、年金手帳など基礎年金番号の分かるものと身分証明を持参してください。

なお、代理者のときは、対象者の年金手帳など基礎年金番号の分かるもののほか、委任状と代理者の身分証明書を準備してください。

●11月10日(土)は

午前9時30分～午後4時

●11月5日・12日・19日・26日の月曜日は

午前8時30分～午後7時

●電話での問合せ

ねんきんダイヤル

☎0570-0511165

IP電話・PHS

☎03-6700-1165

●年金個人情報サービス

日本年金機構ホームページアドレス

<http://www.nenkin.go.jp/>

《問合せ》

▽日本年金機構 豊岡年金事務所

☎22-0948

▽市民課市民係

☎21-9015または各総合支所市民福祉課

企業紹介

ふるさとづくりのために
環境経済に取り組んでいます！
24

SUN WEST (塩津)

「ペレットストーブ普及でふるさとの山を守る」

「環境を良くする事業で経済効果が生まれることにより、環境と経済は互いに発展し合う」。このような環境経済型事業に取り組み企業にインタビューします。

《問合せ》経済課経済係 ☎ 23-4480



「ペレットストーブの販売を始めたきっかけは？」

最初は、自宅にペレットストーブを導入し、趣味として楽しんでいました。

その後、自宅が台風による水害で浸水したことをきっかけに、『山の保水力』の重要性に気付きました。間伐材を使ったペレットを大量に消費することで、林業を活性化させ、山の健康を保つことで、地域



▲柔らかな暖かさが特徴の「ペレットストーブ」

の防災を高めたい。そんな、「小さな社会貢献」ができれば

と思い、8年前からペレットストーブの販売を始めました。

「ペレットストーブの特徴を教えてください。」

燃料となるペレットは、木くずを圧縮したウッドチップを原料とします。石油ストーブとの違いは、熱風による強制的な熱さではなく、輻射熱による柔らかな暖かさを体感できることです。

また、小型のものでも、30畳近い空間を暖かくでき、少し大型のものなら、家全体を暖かくできます。

「実際に購入する時の値段やポイントは？」

豊岡市の助成制度を利用すれば、安価なものなら、煙突や取り付け手数料込みで、総額23万円程度になります。

石油ストーブと比べると、かなり高価ですが、火の暖か

みや環境改善に理解のある方に購入いただきたいです。

また、ペレットストーブは、

日頃のメンテナンスが重要です。その点、地元業者から購入すれば、すぐに修理に駆け付けられます。

「環境への効果は？」

ペレットは、再生可能エネルギーです。また、燃やしても大気中の二酸化炭素の量を増やしません。さらに、ペレット製造は林業を活性化し、森を豊かにする効果があります。

カロリー(熱量の単位)当たりの燃料代が、灯油より安価なことも魅力です。

「今後の展開は？」

ペレットストーブの知名度は、まだまだ低いのが現状です。まずは、ペレットストーブの良さを知ってもらうために、イベント出店などを通して普及啓発活動を進めていきます。

※詳細は、問い合わせください。☎ 26-11777



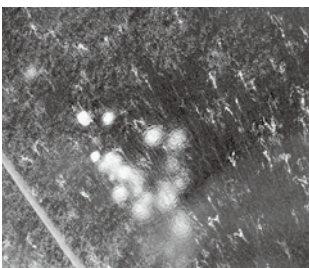
▲ペレット

「みやぎ」南極へ行く 10 大池おおいけ

平成23年12月23日、「みやぎ」こと宮下泰尚隊員(豊岡市職員)が「第53次南極地域観測隊越冬隊員」として南極昭和基地に立ちました。豊岡市民にとって、豊岡にいながら世界につながるという新しい夢の始まりです。世界に飛び出した宮下隊員のレポートを紹介します。

《問合せ》植村直己冒険館 ☎ 44-1515

西オングル島にある「大池」という池に行きました。この池は毎年、透明できれいな氷を張ることで知られています。浅いところでは湖底まで見えましたが、場所によっては南極で生きている黄色のコケを見ることができました。この池は夏には氷が全て溶けてしまします。そして、夏が終わるころから、時間をかけて凍っていきそうです。そのため、とても透明な氷を張りま



▲氷の中に閉じ込められた気泡

池に近づくにつれ、白い模様が現れてきました。氷の上の遠足はツルツル滑る氷の上を歩くようなもので、大変苦労しましたが、これも南極ならではの経験です。

※詳細は、ブログ「植村直己冒険館職員南極へ行く」で紹介しています。

<http://blog.apteacup.com/boukenkan/>